

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	世界主要国（日本を除く）の国債をはじめとした各種投資適格債に分散投資します。原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	海外高格付け債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	F S 海外高格付け債マ ザーファンド受益証券を 主要投資対象とします。
	F S 海外高格付け債 マザーファンド	日本を除く先進主要国の 各種投資適格債（「B B B-」格以上の債券）を 主要投資対象とします。
当ファンドの 運用方法	海外高格付け債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	マザーファンド受益証券 の組入れには制限を設け ません。
	F S 海外高格付け債 マザーファンド	①外貨建資産の投資割合 には制限を設けません。 ②株式への投資割合は信 託財産の純資産総額の 10%以内とします。
分配方針	毎決算時（原則として毎年6月10日および12月10日）に、経費控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額の水準等を勘案して分配を行います。ただし、分配金は税金を差引いた後、自動的に全額再投資されます。	

*** 当期の分配金**

1 万口当たり分配金(税引前)	50円
-----------------	-----

(詳しくは、当期の分配金のお知らせをお読み下さい。)



【アバディーン・ファンド・セレクション】 海外高格付け債ファンド

Bコース：為替ヘッジなし

運用報告書（全体版）

第35期

決算日：2016年6月10日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「【アバディーン・ファンド・セレクション】海外高格付け債ファンドBコース(為替ヘッジなし)」は、2016年6月10日に第35期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

アバディーン投信投資顧問株式会社

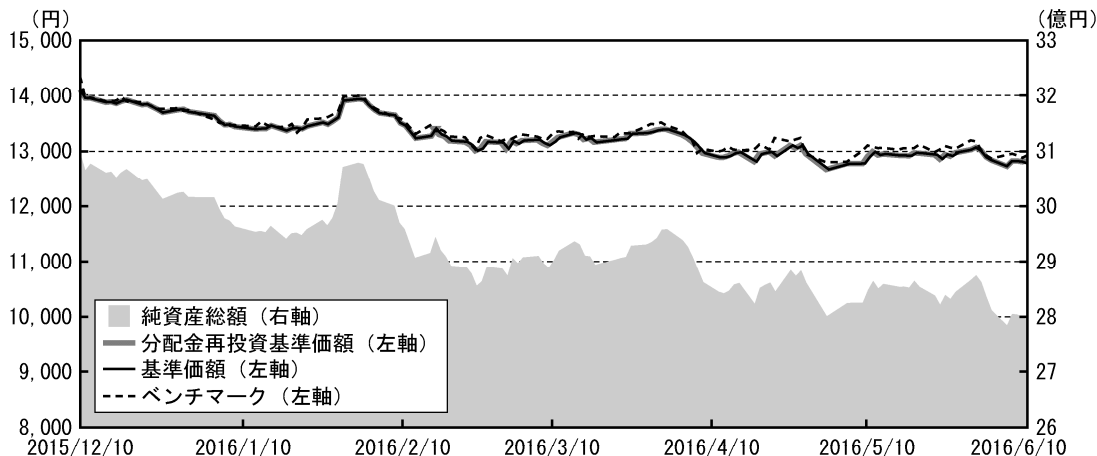
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-3 虎ノ門清和ビル
お問い合わせ窓口 03-4578-2251

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。)
インターネット・ホームページ <http://www.aberdean-asset.co.jp>

●運用経過

当期中の基準価額等の推移について

ファンド	当ファンドは第35期の決算を迎え、基準価額は前期末の13,956円から当期末には分配金50円込みで12,828円、値下がり額は1,128円となり、当期の騰落率は8.1%の下落となりました。
ベンチマーク	当ファンドの騰落率は、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス（除く日本/円ベース）の下落率7.4%を0.7%下回りました。



- (注1) ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の評価基準又は目標基準とする指標）は、『シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）』です。ベンチマークは、基準価額への反映を考慮して基準日前営業日の終値を採用し、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金を再投資するかどうかについてはファンドおよび販売会社の取り決め、もしくはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるので、上記の推移がお客様の損益の状況を示すものではありません。

第35期首	13,956円
第35期末	12,778円（既払分配金（税引前）50円）
騰落率	△8.1%（分配金（税引前）再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

上昇要因	世界主要国（日本を除く）の国債をはじめとした各種投資適格債に分散投資し、欧州を中心として世界的に債券の利回りがやや低下し、保有する債券が値上がりしました。
下落要因	円が全面高となったことで、各国とも軒並み10%近い為替評価損になりました。英国でEU離脱を問う国民投票が控えていることから英ポンドが大きく値下がりしました。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		債券組入率 (%)	債券先物比率 (%)	純資産総額 (百万円)
	(分配落) (円)	税込分配金 (円)	期中騰落率 (%)	期中騰落率 (%)	期中騰落率 (%)			
第31期 (2014年6月10日)	13,004	120	3.3	206.32	2.5	94.3	△7.1	2,910
第32期 (2014年12月10日)	14,701	150	14.2	237.73	15.2	96.3	△6.3	3,275
第33期 (2015年6月10日)	14,306	80	△2.1	232.78	△2.1	96.5	△29.4	3,139
第34期 (2015年12月10日)	13,956	60	△2.0	232.04	△0.3	94.7	△11.8	3,065
第35期 (2016年6月10日)	12,778	50	△8.1	214.96	△7.4	95.2	13.6	2,794

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 株式および株式先物の組入れはありません。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注5) 純資産の単位未満は切捨て。騰落率及び各比率は小数第2位以下で四捨五入。

(注6) ベンチマークは設定日前日を100として指数化。

(注7) ベンチマークは、シティ世界国債インデックス (除く日本/円ベース) とします。

(注8) モーゲージ証券 (バススルー証券) 取引は、約定から受渡しまでに1ヶ月程度の期間を要するため、その期間において取引金額相当分を米国短期国債や米国政府機関が発行する割引債で運用することがあります。したがって、債券組入比率は100%を上回ることがあります。

当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		債券組入率 (%)	債券先物比率 (%)
	(円)	騰落率 (%)	騰落率 (%)	騰落率 (%)		
(期首) 2015年12月10日	13,956	-	232.04	-	99.9	△12.4
2015年12月30日	13,709	△1.8	228.43	△1.6	100.8	13.6
2016年1月29日	13,908	△0.3	232.48	0.2	100.6	△3.4
2016年2月29日	13,155	△5.7	219.12	△5.6	102.3	△9.1
2016年3月31日	13,390	△4.1	224.73	△3.2	97.1	3.6
2016年4月28日	12,955	△7.2	215.34	△7.2	91.7	9.6
2016年5月31日	13,069	△6.4	219.06	△5.6	92.9	13.6
(期末) 2016年6月10日	12,828	△8.1	214.96	△7.4	95.2	13.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

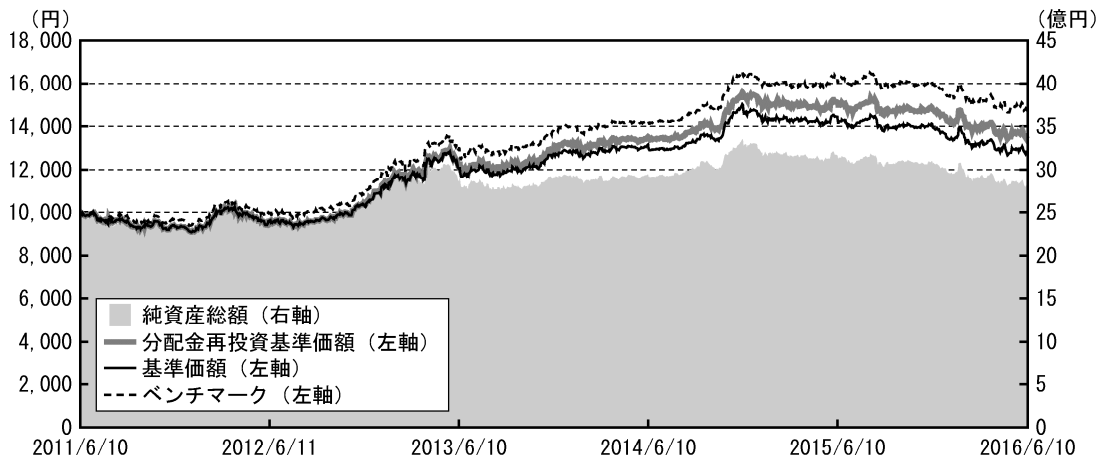
(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 騰落率及び各比率は小数第2位以下で四捨五入。

(注5) ベンチマークは設定日前日を100として指数化。

(注6) モーゲージ証券 (バススルー証券) 取引は、約定から受渡しまでに1ヶ月程度の期間を要するため、その期間において取引金額相当分を米国短期国債や米国政府機関が発行する割引債で運用することがあります。したがって、債券組入比率は100%を上回ることがあります。

最近5年間の基準価額等の推移について



- (注1) ベンチマーク (ファンドの運用を行うにあたって運用成果の評価基準又は目標基準とする指標) は、『シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)』です。ベンチマークは、基準価額への反映を考慮して基準日前営業日の終値を採用し、2011年6月10日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金を再投資するかどうかについてはファンドおよび販売会社の取り決め、もしくはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるので、上記の推移がお客様の損益の状況を示すものではありません。

最近5年間の年間騰落率

決算日	2011年6月10日	2012年6月11日	2013年6月10日	2014年6月10日	2015年6月10日	2016年6月10日
分配落ち基準価額 (円)	9,927	9,633	12,012	13,004	14,306	12,778
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	230	210	230	110
分配金再投資基準価額騰落率	—	△3.0%	27.3%	10.0%	11.8%	△9.9%
ベンチマーク騰落率	—	0.1%	31.0%	9.0%	12.8%	△7.7%
純資産総額 (百万円)	2,437	2,413	2,848	2,910	3,139	2,794

投資環境について

2015年12月には、ECBによる0.1%の金融緩和では不十分との見方もありユーロ圏では利回りが上昇した一方で、米国ではFRBが約9年ぶりに0.25%の金融引き締めへ転じたものの、緩やかな利上げペースとの見通し等から米ドルに対しユーロ高となりました。

2016年1月以降は、米国の2015年10-12月GDP速報値が前四半期からの急減速を示し、景気への不安から英国も利上げに慎重となるなど先進国を中心に利回りが低下しました。1月末には日銀のマイナス金利導入を受けて日本の10年国債利回りもマイナス圏に入り、2月以降は反動もあって円は全面高に転じました。

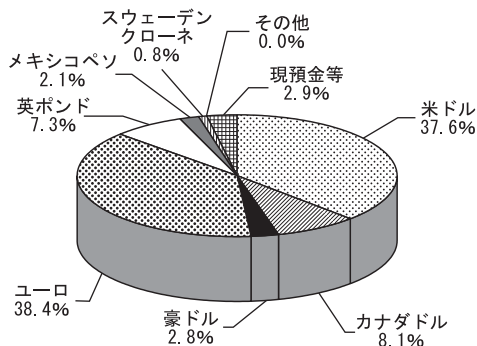
3月以降は、ECBの追加緩和があった欧州や、想定される利上げペースが年2回に鈍化した米国ではほぼ変わらず、マイナス圏の続く日本は大きく利回りが低下しました。為替相場では、日銀の金融政策の現状維持に対して、4月末には追加緩和が期待された反動から円は対ドルで急伸するなど米国の再利上げ動向に影響され、6月初めに発表された米国雇用統計の発表で増加数の大幅減を受けて再び106円台まで上昇しています。

ポートフォリオについて

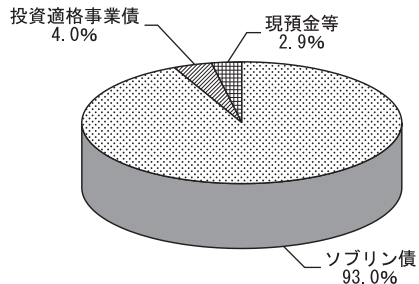
当ファンドは、期中を通じてF S海外高格付け債マザーファンドへの投資比率を高位に保ち、実質的な運用は同ファンドで行いました。通貨配分は、米ドルのオーバーウェイトおよびユーロのアンダーウェイトのポジションを維持し、米国に追隨して利上げをしてきたメキシコのペソでは通貨下落をベンチマーク水準までヘッジすることで損失を回避しました。地域／国別配分は、2016年2月にユーロ圏はほぼ中立、それ以外の地域では米国からカナダに大きく配分を移しました。再利上げを行ったメキシコは引き続きオーバーウェイトしました。4月中にユーロ圏ではドイツ国債先物売り建てたことからデュレーションは短く、一方で米国ではやや長くなったことで、ポートフォリオ全体のデュレーションもベンチマークに対しほぼ中立を維持しました。

◎資産配分 (2016年6月10日現在)

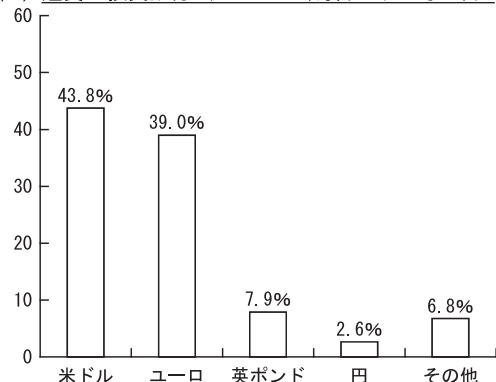
債券の投資配分—通貨別 (マザーファンド)



債券の投資配分—種類別 (マザーファンド)



(%) 通貨の投資配分 (Bコース(為替ヘッジなし))



※債券の通貨別投資配分、種類別投資配分については、マザーファンドのものを表示しています。

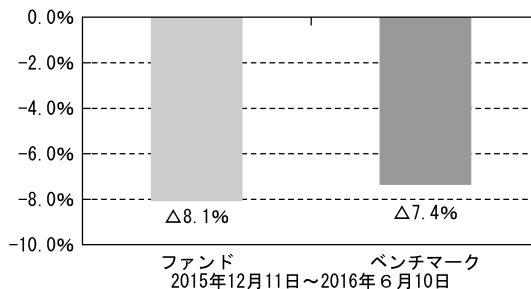
※通貨の投資配分については、ベビーファンドにおけるマザーファンドの組入比率とマザーファンドにおける通貨の投資配分から実質的な投資配分を算出しています。

※各投資配分の表示に際しては、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100.0%とならない場合があります。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの騰落率は、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス（除く日本／円ベース）の下落率7.4%を0.7%下回りました。主なプラス要因としては、修正デュレーションはポートフォリオ全体ではほぼ中立を維持しましたが、大きく長期化のユーロ圏と、やや短期化の米国や英国等のバランスにおいてプラス寄与となりました。一方で、主なマイナス要因としては、地域／国別配分で、2016年1月に比較的利回りの低下幅が大きかったユーロ圏のアンダーウェイト、米国のオーバーウェイトがややマイナスに寄与しました。

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



分配金について

主として配当等収益を原資として、第35期末に50円（税引前）の収益金を支払いました。なお、収益分配に充てなかった利益は信託財産に留保し、留保金の運用については、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

	第35期 (2015年12月11日～2016年6月10日)
当期分配金 (対基準価額比率)	50 0.390%
当期の収益	18
当期の収益以外	31
翌期繰越分配対象額	6,282

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」(税引前)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

●今後の運用方針について

F S海外高格付け債マザーファンド受益証券を通じて、今後とも高い実質外国公社債組入比率を維持する予定です。同マザーファンドにおいては運用基本方針に従い、為替や金利水準を見極めながら、各種の投資ウェイトはユーロ圏地域と、米国を中心とした地域で概ねベンチマークに対し中立を基本とし、地域内において調整していく予定です。なお、修正デュレーションについては、主要国と新興国でバランスを取りつつ、ポートフォリオ全体としてベンチマーク比で中立水準としていく方針です。

金利の見通しとしては、6月末に英国でEU離脱を問う国民投票が控えていることから、6月のF OMCにおける追加利上げは見送られる公算が大きいと考えますが、今後の景気指標の動向次第では7月に追加利上げを行う可能性は十分に考えられるため、米国の長期金利はレンジ内での動きになると見えています。一方のユーロ圏でも、金利が大幅に低下する局面は想定していませんが、追加利下げ観測も根強いことから金利が大きく上昇する可能性も低いと見えています。通貨については、6月の米雇用統計後の動きはやや過剰反応だった可能性が高く、当面は米ドルの下値を確認しながら一進一退の動きが続くと予想しています。ただ、米国とユーロ圏の金融政策の方向感の違いに加え、英国の国民投票を前に欧州通貨に対する不透明感が高まることも予想されるため、ユーロ・円相場はやや円高になる可能性が高いと見えています。

●その他の詳細な情報

1万口当たりの費用明細

項目	第35期 (2015年12月11日～ 2016年6月10日)		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
平均基準価額	13,364	—	期中の平均基準価額です。
信託報酬	90	0.674	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（委託会社）	(43)	(0.322)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(43)	(0.322)	情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(4)	(0.030)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0.007	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(1)	(0.007)	
その他費用	2	0.015	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人に支払うファンド監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.001)	
合計	93	0.696	

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 項目毎に円未満は四捨五入し、単位未満は0円と表示しています。

親投資信託受益証券の設定、解約状況（2015年12月11日から2016年6月10日まで）

	設 定		解 約	
	口 数 (千口)	金 額 (千円)	口 数 (千口)	金 額 (千円)
F S海外高格付け債マザーファンド	8,513	18,000	26,170	51,000

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等（2015年12月11日から2016年6月10日まで）

期中における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2016年6月10日現在)

親投資信託残高

	期 首 (前期末)	当 期 末	
	口 数 (千口)	口 数 (千口)	評 価 額 (千円)
F S 海外高格付け債マザーファンド	1,424,995	1,407,338	2,751,909

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成

(2016年6月10日現在)

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額 (千円)	(%)
F S 海外高格付け債マザーファンド	2,751,909	97.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	75,677	2.7
投 資 信 託 財 産 総 額	2,827,586	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) F S 海外高格付け債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産 (20,870,966千円) の投資信託財産総額 (21,452,131千円) に対する比率は97.30%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2016年6月10日における邦貨換算レートは1米ドル=107.10円、1カナダ・ドル=84.11円、1オーストラリア・ドル=79.38円、1スターリング・ポンド=154.80円、1メキシコ・ペソ=5.86円、1シンガポール・ドル=79.11円、1スウェーデン・クローネ=13.07円、1ユーロ=121.01円です。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年6月10日)現在

項 目	第 35 期 末
(A) 資 産(円)	2,827,586,489
コール・ローン等	75,677,291
F S 海外高格付け債 マザーファンド(評価額)	2,751,909,198
(B) 負 債	33,040,203
未払収益分配金	10,935,099
未払解約金	2,166,800
未払信託報酬	19,722,097
未払利息	207
その他未払費用	216,000
(C) 純資産総額(A-B)	2,794,546,286
元 本	2,187,019,908
次期繰越損益金	607,526,378
(D) 受益権総口数(口)	2,187,019,908
1万口当たり基準価額(C/D)(円)	12,778

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

- (注1) 期首元本額(円) 2,196,360,897
 期中追加設定元本額(円) 112,017,979
 期中一部解約元本額(円) 121,358,968
 (注2) 1口当たり純資産額(円) 1.2778
 (注3) 元本の欠損(円) -
 (注4) 当期末における未払信託報酬(消費税等相当額を含む)の簡便法による内訳は、「1万口当たりの費用明細」をご覧ください。

損益の状況

当期 (2015年12月11日から2016年6月10日まで)

項 目	第 35 期
(A) 配 当 等 収 益(円)	△ 6,405
受 取 利 息	794
支 払 利 息	△ 7,199
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益	△220,080,868
売 買 損 益	8,100,681
売 買 損 益	△228,181,549
(C) 信 託 報 酬 等	△ 19,938,097
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△240,025,370
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	391,376,560
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	467,110,287
(配 当 等 相 当 額)	(840,703,993)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△373,593,706)
(G) 合 計(D+E+F)	618,461,477
(H) 収 益 分 配 金	△ 10,935,099
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	607,526,378
追 加 信 託 差 損 益 金	467,110,287
(配 当 等 相 当 額)	(840,871,865)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△373,761,578)
分 配 準 備 積 立 金	533,218,376
繰 越 損 益 金	△392,802,285

- (注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定金額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注4) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。
 (注5) 当期における信託報酬(消費税等相当額を含む)の簡便法による内訳は、「1万口当たりの費用明細」をご覧ください。
 (注6) 収益分配金の計算過程
 費用控除後の配当等収益(円) 3,981,350
 費用控除後の有価証券売買等損益(円) 0
 信託約款に規定する収益調整金(円) 840,871,865
 分配準備積立金(円) 540,172,125
 分配対象収益(円) 1,385,025,340
 分配対象収益(10,000口当たり)(円) 6,332
 分配金(円) 10,935,099
 分配金(10,000口当たり)(円) 50

* 当期の分配金のお知らせ *

	Bコース<為替ヘッジなし>
◎ 1 万口 $\left[\frac{\text{元 本}}{1 \text{ 万円}} \right]$ 当たり分配金	50円

◇分配金は決算日から起算して5営業日までに支払いを開始しております。お手持り分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

(ご参考)

◇収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。受益者が収益分配金を受取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額に対して、以下のとおりとなります。

- ・当該受益者の個別元本と同額または上回っている場合には、収益分配金の全額が普通分配金となります。
- ・当該受益者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

◇普通分配金については配当所得として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行われ、申告不要制度が適用されます。または、確定申告を行い、申告分離課税ないし総合課税を選択することもできます。

◇法人の場合は税率が異なります。

◇税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

◇税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

◇復興特別所得税についてのお知らせ

2014年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税および復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

なお、復興特別所得税に係る記載がされた目論見書の再交付をご希望される受益者の方につきましては、お申し出頂ければ再度、送付させていただきますので、その旨を販売会社までお申し出ください。

当報告書はアバディーン投信投資顧問株式会社独自の分析に基づき作成したものです。信頼できる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性が保証されるものではありません。当報告書で示した見通しおよび分析結果等については、予告なく変更する場合があります。また、当報告書中の過去の収益率等は、将来の投資成果を保証するものではありません。

運用報告書

F S 海外高格付け債マザーファンド

第18期

決算日：2016年6月10日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「F S 海外高格付け債マザーファンド」は、2016年6月10日に第18期の決算を行いましたので、期中の運用概況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

◎基準価額の推移と運用実績（2015年6月11日から2016年6月10日まで）

●運用経過

当期中の基準価額等の推移について

ファンド	当ファンドは第18期の決算を迎え、基準価額は前期末の21,445円から当期末には19,554円、値下がり額は1,891円、当期の騰落率は8.8%の下落となりました。
ベンチマーク	当ファンドの騰落率は、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス（除く日本/円ベース）の下落率7.7%を1.1%下回りました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	世界主要国（日本を除く）の国債をはじめとした各種投資適格債に分散投資し、欧州を中心として世界的に債券の利回りがやや低下し、保有する債券が値上がりしました。
下落要因	円が全面高となったことで各国とも軒並み10%近い為替評価損になりました。英国でEU離脱を問う国民投票が控えていることから英ポンドが大きく値下がりしました。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (円)	期中 騰落率 (%)	ベンチマーク		債券 組入 率 (%)	債券 先比 (%)	債券 物率 (%)	純資 産額 (百万円)
			期中 騰落率 (%)	期中 騰落率 (%)				
第14期 (2012年6月10日)	13,057	△ 2.1	144.75	0.3	97.0	△17.3	20,073	
第15期 (2013年6月10日)	16,943	29.8	189.31	30.8	94.4	0.1	21,288	
第16期 (2014年6月10日)	18,915	11.6	206.32	9.0	95.5	△ 7.1	22,086	
第17期 (2015年6月10日)	21,445	13.4	232.78	12.8	98.0	△29.9	21,698	
第18期 (2016年6月10日)	19,554	△ 8.8	214.96	△ 7.7	96.6	13.9	21,055	

(注1) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注2) 純資産の単位未満は切捨て。騰落率及び各比率は小数第2位以下で四捨五入。

(注3) ベンチマークは設定日前日を100として指数化。

(注4) ベンチマークは、シティ世界国債インデックス（除く日本/円ベース）とします。

(注5) モーゲージ証券（パススルー証券）取引は、約定から受渡しまでに1ヶ月程度の期間を要するため、その期間において取引金額相当分を米国短期国債や米国政府機関が発行する割引債で運用することがあります。したがって、債券組入比率は100%を上回ることがあります。

当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額 (円)	騰落率 (%)	ベンチマーク		債券 組入 率 (%)	債券 先比 (%)
			騰落率 (%)	騰落率 (%)		
(期首) 2015年6月10日	21,445	-	232.78	-	98.0	△29.9
2015年6月30日	21,131	△1.5	232.60	△0.1	97.7	△21.2
2015年7月31日	21,451	0.0	237.55	2.0	96.5	△ 4.1
2015年8月31日	21,103	△1.6	232.19	△0.3	96.0	12.2
2015年9月30日	21,001	△2.1	230.68	△0.9	95.8	5.8
2015年10月30日	21,090	△1.7	232.51	△0.1	95.4	2.9
2015年11月30日	21,109	△1.6	232.62	△0.1	96.5	12.0
2015年12月30日	20,785	△3.1	228.43	△1.9	96.8	13.1
2016年1月29日	21,114	△1.5	232.48	△0.1	96.9	△ 3.3
2016年2月29日	19,983	△6.8	219.12	△5.9	97.9	△ 8.7
2016年3月31日	20,367	△5.0	224.73	△3.5	98.3	3.7
2016年4月28日	19,717	△8.1	215.34	△7.5	92.8	9.7
2016年5月31日	19,915	△7.1	219.06	△5.9	93.5	13.7
(期末) 2016年6月10日	19,554	△8.8	214.96	△7.7	96.6	13.9

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 騰落率及び各比率は小数第2位以下で四捨五入。

(注4) ベンチマークは設定日前日を100として指数化。

(注5) モーゲージ証券（パススルー証券）取引は、約定から受渡しまでに1ヶ月程度の期間を要するため、その期間において取引金額相当分を米国短期国債や米国政府機関が発行する割引債で運用することがあります。したがって、債券組入比率は100%を上回ることがあります。

投資環境について

2015年6月にはドラギECB総裁が金利水準の変動を容認したことから世界的に利回りが上昇しましたが、7月にはECBが量的緩和の完全実施を表明したことで安心感から世界的に利回りが低下しました。その間の為替相場では、6月に黒田日銀総裁が125円超の円安を牽制するなど対ドルで円高に転じ、8月には人民元の切り下げや月初の商品価格下落から主に新興国や資源国通貨が売られ、円は対米ドルで一時116円まで急騰して全面高となりました。9月に入りユーロ圏で量的金融緩和の拡充を示唆するなどユーロ圏を始め欧米で債券利回りは低下し、10月にユーロ圏ではドイツ10年国債で0.5%を下回るなどしました。2015年12月には、ECBによる0.1%の金融緩和では不十分との見方もありユーロ圏では利回りが上昇した一方で、米国ではFRBが約9年ぶりに0.25%の金融引き締めへ転じたものの、緩慢な利上げペースとの見通し等から米ドルに対しユーロ高となりました。

2016年1月以降は、米国の2015年10-12月GDP速報値が前四半期からの急減速を示し、景気への不安から英国も利上げに慎重となるなど先進国を中心に利回りが低下しました。1月末には日銀のマイナス金利導入を受けて日本の10年国債利回りもマイナス圏に入り、2月以降は反動もあって円は全面高に転じました。3月以降は、ECBの追加緩和があった欧州や、想定される利上げペースが年2回に鈍化した米国ではほぼ変わらず、マイナス圏の続く日本は大きく利回りが低下しました。為替相場では、日銀の金融政策の現状維持に対して、4月末には追加緩和が期待された反動から円は対ドルで急伸するなど米国の再利上げ動向に影響され、6月初めに発表された米国雇用統計の発表で増加数の大幅減を受けて再び106円台まで上昇しています。

ポートフォリオについて

通貨配分は、米ドルのオーバーウェイトおよびユーロのアンダーウェイトのポジションを維持し、米国に追従して利上げをしてきたメキシコのペソでは通貨下落をベンチマーク水準までヘッジすることで損失を回避しました。地域/国別配分は、ユーロ圏において2015年9月からフランスとイタリアをベンチマーク並みまで増やし、低利回りの続くドイツを減らして利回りの確保に努めました。また、2016年2月にユーロ圏はほぼ中立、それ以外の地域では米国からカナダに大きく配分を移しました。再利上げを行ったメキシコは引き続きオーバーウェイトしました。修正デュレーションは、ベンチマークに対しユーロ圏は長期化、米国は短期化して、ポートフォリオ全体ではほぼ中立にしましたが、4月中旬にユーロ圏ではドイツ国債先物を売り建てたことからデュレーションは短く、一方で米国ではやや長くしつつ、ポートフォリオ全体では引き続きほぼ中立を維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの騰落率は、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス（除く日本/円ベース）の下落率7.7%を1.1%下回りました。主なプラス要因としては、カナダへのオーバーウェイトや、オーストラリア・ドルへの為替ヘッジなどが貢献しました。一方で、主なマイナス要因としては、米ドルのオーバーウェイトおよびユーロのアンダーウェイトのポジションや、米国でのデュレーション短期化がマイナスになりました。

●今後の運用方針について

運用基本方針に従い、為替や金利水準を見極めながら、各種の投資ウェイトはユーロ圏地域と、米国を中心とした地域で概ねベンチマークに対し中立を基本とし、地域内において調整していく予定です。なお、修正デュレーションについては、主要国と新興国でバランスを取りつつ、ポートフォリオ全体としてベンチマーク比で中立水準としていく方針です。

金利の見通しとしては、6月末に英国でEU離脱を問う国民投票が控えていることから、6月のFOMCにおける追加利上げは見送られる公算が大きいと考えますが、今後の景気指標の動向次第では7月に追加利上げを行う可能性は十分に考えられるため、米国の長期金利はレンジ内での動きになると見えています。一方のユーロ圏でも、金利が大幅に低下する局面は想定していませんが、追加利下げ観測も根強いことから金利が大きく上昇する可能性も低いと見えています。通貨については、6月の米雇用統計後の動きはやや過剰反応だった可能性が高く、当面は米ドルの下値を確認しながら一進一退の動きが続くと予想しています。ただ、米国とユーロ圏の金融政策の方向感の違いに加え、英国の国民投票を前に欧州通貨に対する不透明感が高まることも予想されるため、ユーロ・円相場はやや円高になる可能性が高いと見えています。

●その他の詳細な情報

1万口当たりの費用明細

項目	第18期 (2015年6月11日～ 2016年6月10日)		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
平均基準価額	20,731	—	期中の平均基準価額です。
売買委託手数料	4	0.019	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(4)	(0.019)	
その他費用 (保管費用)	5 (5)	0.025 (0.024)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.001)	
合計	9	0.044	

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 項目毎に円未満は四捨五入し、単位未満は0円と表示しています。

期中の売買及び取引の状況 (2015年6月11日から2016年6月10日まで)

(1) 公社債

内外区分	国名	通貨名	債券種類	買付金額 (千)	売付金額 (千)
外国	アメリカ合衆国	米ドル	国債証券	129,172	126,443
			特殊債券	-	291
			普通社債券	14,382	17,059
	カナダ	カナダ・ドル	国債証券	48,062	31,818
			普通社債券	-	1,317
	オーストラリア	オーストラリア・ドル	国債証券	11,965	28,485
			普通社債券	-	1,317
	英国	スターリング・ポンド	国債証券	9,283	4,904
	メキシコ	メキシコ・ペソ	国債証券	58,222	99,700
	スウェーデン	スウェーデン・クローネ	国債証券	-	41,013
	スペイン	ユーロ	国債証券	9,956	13,887
			普通社債券	897	-
	ベルギー	ユーロ	国債証券	1,234	757
			普通社債券	727	750
ドイツ	ユーロ	国債証券	26,916	30,379	
		普通社債券	935	944	

内外区分	国名	通貨名	債券種類	買付金額 (千)	売付金額 (千)
外国	フランス	ユーロ	国債証券	16,736	7,686
			普通社債券	695	731
	イタリア	ユーロ	国債証券	33,371	21,701
			普通社債券	720	-
	オランダ	ユーロ	国債証券	720	-
			普通社債券	366	374
アイルランド	ユーロ	国債証券	6,184	8,185	
その他	ユーロ	普通社債券	2,639	3,741	

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(2) 先物取引の種類別取引状況

		買 建		売 建	
		新規買付額 (百万円)	決 済 額 (百万円)	新規売付額 (百万円)	決 済 額 (百万円)
外国	債券先物取引	44,692	39,181	35,414	39,455

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外国の取引金額は各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 金額は受渡し代金。

(3) 直物為替先渡取引状況

		買 建		売 建	
		新規買付額 (百万円)	決 済 額 (百万円)	新規売付額 (百万円)	決 済 額 (百万円)
米ドル	(マレーシアリングット)	398	398	400	398

(注1) 取引金額は、各月末(決算日の属する月)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

(注2) 単位未満切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2015年6月11日から2016年6月10日まで)

期中における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2016年6月10日現在)

(1) 外貨建公社債

国名	通貨名	額面 (千)	外貨建 評価額 (千)	邦貨換算 金額 (千円)	組入比率 (%)	B B 格 以下 組入比率 (%)	残存期間 5年以上 組入比率 (%)	残存期間 2年以上 組入比率 (%)	残存期間 2年未満 組入比率 (%)
アメリカ合衆国	米ドル	71,638	73,578	7,880,238	37.4	-	16.2	10.7	10.4
イタリア	ユーロ	22,909	23,279	2,817,101	13.4	-	3.5	9.9	-
フランス	ユーロ	14,446	15,480	1,873,292	8.9	-	4.5	4.4	-
ドイツ	ユーロ	10,635	12,708	1,537,813	7.3	-	6.6	0.7	-
スペイン	ユーロ	7,084	7,469	903,935	4.3	-	3.8	0.5	-
オランダ	ユーロ	2,769	3,465	419,334	2.0	-	2.0	-	-
ベルギー	ユーロ	2,524	3,289	398,069	1.9	-	1.9	-	-
アイルランド	ユーロ	830	852	103,103	0.5	-	0.5	-	-
カナダ	カナダ・ドル	18,740	20,296	1,707,137	8.1	-	1.1	7.0	-
英国	スターリング・ポンド	7,779	9,846	1,524,169	7.2	-	4.3	1.7	1.2
オーストラリア	オーストラリア・ドル	7,243	7,370	585,072	2.8	-	-	2.8	-
メキシコ	メキシコ・ペソ	63,569	71,560	419,344	2.0	-	0.3	1.6	-
スウェーデン	スウェーデン・クローネ	12,600	13,247	173,145	0.8	-	-	-	0.8
シンガポール	シンガポール・ドル	56	60	4,791	0.0	-	-	0.0	-
合計				20,346,547	96.6		44.8	39.4	12.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

(注5) 組入比率は小数第2位以下で四捨五入。

(注6) モーゲージ証券(パススルー証券)取引は、約定から受渡しまでに1ヶ月程度の期間を要するため、その期間において取引金額相当分を米国短期国債や米国政府機関が発行する割引債で運用することがあります。したがって、モーゲージ証券を含めた組入有価証券の評価額の合計は、純資産総額を上回ることがあります。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別		当期末評価額	
		買建額 (百万円)	売建額 (百万円)
外	債券先物取引		
	AUST 3YR BOND FUT JUN16	1,829	-
	LONG GILT FUTURE SEP16	173	-
	EURO-OAT FUTURE SEP16	1,204	-
	EURO BUXL 30Y BND SEP16	561	-
	US 2YR NOTE (CBT) SEP16	678	-
	US 5YR NOTE (CBT) SEP16	1,230	-
国	US 10YR ULTRA FUT SEP16	2,344	-
	AUST 10Y BOND FUT JUN16	-	664
	EURO-BUND FUTURE SEP16	-	3,663
	US 10YR NOTE (CBT) SEP16	-	154
	US ULTRA BOND CBT SEP16	-	618

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(3) 直物為替先渡取引残高

銘柄別		取引契約残高			
		当期末想定元本			
		買建金額		売建金額	
		外貨建金額	邦貨換算金額	外貨建金額	邦貨換算金額
米ドル	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円	
(マレーシア・リングギット)	879	94	-	-	

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の外貨建金額をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

個別銘柄詳細開示 (2016年6月10日現在)

外国 (外貨建) 公社債銘柄別

国名	通貨名	債券種類	銘柄名	額面 (千)	外貨建評価額 (千)	邦貨換算金額 (千円)	組入比率 (%)	利率	償還年月日
アメリカ合衆国	米ドル	国債証券	0.375% TSY INFL IX N/B	4,750	4,905	525,395	2.5	0.375	2025/07/15
		国債証券	0.5% US TREASURY N/B	1,580	1,580	169,247	0.8	0.5	2016/06/30
		国債証券	0.625% US TREASURY N/B	16,730	16,718	1,790,593	8.5	0.625	2017/07/31
		国債証券	0.875% US TREASURY N/B	3,402	3,406	364,816	1.7	0.875	2018/10/15
		国債証券	1% US TREASURY N/B	603	603	64,672	0.3	1.0	2019/11/30
		国債証券	1.375% US TREASURY N/B	11,093	11,199	1,199,430	5.7	1.375	2020/08/31
		国債証券	1.375% US TREASURY N/B	1,230	1,241	132,921	0.6	1.375	2020/09/30
		国債証券	1.75% US TREASURY N/B	5,827	5,937	635,955	3.0	1.75	2022/09/30
		国債証券	2.125% US TREASURY N/B	5,863	6,098	653,179	3.1	2.125	2025/05/15
		国債証券	2.5% US TREASURY N/B	8,509	8,539	914,535	4.3	2.5	2045/02/15

国名	通貨名	債券種類	銘柄名	額面 (千)	外貨建評価額 (千)	邦貨換算金額 (千円)	組入比率 (%)	利率	償還年月日
アメリカ合衆国	米ドル	国債証券	4.5% US TREASURY N/B	2,414	3,387	362,773	1.7	4.5	2036/02/15
		国債証券	5.25% US TREASURY N/B	698	964	103,306	0.5	5.25	2028/11/15
		特殊債券	SWEDISH EXPORT CREDIT Floating	2,100	2,104	225,366	1.1	2.875	2023/11/14
		普通社債券	1.724% FORD MOTOR CREDIT CO LL	1,704	1,705	182,619	0.9	1.724	2017/12/06
		普通社債券	UNITED TECHNOLOGIES CORP_Float	489	492	52,714	0.3	1.778	2018/05/04
		普通社債券	1.9% TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	1,193	1,203	128,935	0.6	1.9	2021/04/08
		普通社債券	2% BANQUE FED CRED MUTUEL	1,035	1,040	111,488	0.5	2.0	2019/04/12
		普通社債券	2.25% NATIONAL AUSTRALIA BANK	1,000	1,017	108,991	0.5	2.25	2021/03/16
		普通社債券	2.5% MYLAN NV	964	971	104,071	0.5	2.5	2019/06/07
		普通社債券	DOMINION RESOURCES INC_FLOATIN	274	277	29,680	0.1	2.962	2019/07/01
普通社債券	3% MYLAN NV	179	182	19,545	0.1	3.0	2018/12/15		
小計						7,880,238			
イタリア	ユーロ	国債証券	0.7% BUONI POLIENNALI DEL TES	16,856	17,194	2,080,743	9.9	0.7	2020/05/01
		国債証券	1.5% BUONI POLIENNALI DEL TES	1,928	1,976	239,235	1.1	1.5	2025/06/01
		国債証券	1.65% BUONI POLIENNALI DEL TES	3,287	3,222	389,986	1.9	1.65	2032/03/01
		国債証券	2.7% BUONI POLIENNALI DEL TES	838	885	107,135	0.5	2.7	2047/03/01
フランス	ユーロ	国債証券	0% FRANCE (GOVT OF)	7,500	7,598	919,437	4.4	-	2020/05/25
		国債証券	0.5% FRANCE (GOVT OF)	3,145	3,216	389,274	1.8	0.5	2025/05/25
		国債証券	1.5% FRANCE (GOVT OF)	2,632	2,917	353,014	1.7	1.5	2031/05/25
ドイツ	ユーロ	国債証券	3.25% FRANCE (GOVT OF)	1,169	1,748	211,564	1.0	3.25	2045/05/25
		国債証券	0.25% BUNDESobligation	1,110	1,145	138,639	0.7	0.25	2020/10/16
		国債証券	0.5% BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	5,620	5,916	715,897	3.4	0.5	2025/02/15
スペイン	ユーロ	国債証券	1.5% BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	1,230	1,373	166,153	0.8	1.5	2022/09/04
		国債証券	2.5% BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	1,760	2,669	323,047	1.5	2.5	2046/08/15
		国債証券	5.5% BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	915	1,603	194,075	0.9	5.5	2031/01/04
オランダ	ユーロ	国債証券	1.6% BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5,824	6,008	727,134	3.5	1.6	2025/04/30
		普通社債券	5.15% BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	360	554	67,082	0.3	5.15	2044/10/31
ベルギー	ユーロ	普通社債券	0.75% SANTAN CONSUMER FINANCE	900	906	109,717	0.5	0.75	2019/04/03
		国債証券	1.75% NETHERLANDS GOVERNMENT	2,224	2,520	305,013	1.4	1.75	2023/07/15
アイルランド	ユーロ	国債証券	3.75% NETHERLANDS GOVT	544	944	114,320	0.5	3.75	2042/01/15
		国債証券	2.25% BELGIUM KINGDOM	1,746	2,028	245,408	1.2	2.25	2023/06/22
オランダ	ユーロ	国債証券	3.75% BELGIUM KINGDOM	778	1,261	152,660	0.7	3.75	2045/06/22
		国債証券	1% IRISH TSY	830	852	103,103	0.5	1.0	2026/05/15
小計						8,052,649			
カナダ	カナダ・ドル	国債証券	1.75% CANADIAN GOVT	16,950	17,519	1,473,552	7.0	1.75	2019/03/01
		国債証券	5% CANADIAN GOVT	1,790	2,777	233,584	1.1	5.0	2037/06/01
小計						1,707,137			
英国	スターリング・ポンド	国債証券	1% UK TSY	1,600	1,612	249,564	1.2	1.0	2017/09/07
		国債証券	2% UK TSY	2,218	2,339	362,099	1.7	2.0	2020/07/22
		国債証券	4.25% UK TSY	1,020	1,369	212,024	1.0	4.25	2032/06/07
		国債証券	4.25% UK TSY	2,120	3,296	510,277	2.4	4.25	2049/12/07
		国債証券	4.75% UK TSY	821	1,228	190,202	0.9	4.75	2038/12/07
小計						1,524,169			

国名	通貨名	債券種類	銘柄名	額面 (千)	外貨建評価額 (千)	邦貨換算金額 (千円)	組入比率 (%)	利率	償還年月日
オーストラリア	オーストラリア・ドル	国債証券	1.75% AUSTRALIAN GOVT	6,293	6,317	501,486	2.4	1.75	2020/11/21
		国債証券	4.5% AUSTRALIAN GOVT	950	1,052	83,585	0.4	4.5	2020/04/15
小計						585,072			
メキシコ	メキシコ・ペソ	国債証券	8% MEX BONOS DESARR FIX RT	53,861	59,179	346,790	1.6	8.0	2020/06/11
		国債証券	10% MEX BONOS DESARR FIX RT	9,708	12,381	72,554	0.3	10.0	2024/12/05
小計						419,344			
スウェーデン	スウェーデン・クローネ	国債証券	3.75% SWEDISH GOVT	12,600	13,247	173,145	0.8	3.75	2017/08/12
小計						173,145			
シンガポール	シンガポール・ドル	国債証券	3.25% SINGAPORE GOVT	56	60	4,791	0.0	3.25	2020/09/01
小計						4,791			
合計						20,346,547			

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

投資信託財産の構成

(2016年6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額 (千円)	比 率 (%)
公 社 債	20,346,547	97.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,105,584	2.7
投 資 信 託 財 産 総 額	21,452,131	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産 (20,870,966千円) の投資信託財産総額 (21,452,131千円) に対する比率は97.30%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2016年6月10日における邦貨換算レートは1米ドル=107.10円、1カナダ・ドル=84.11円、1オーストラリア・ドル=79.38円、1スターリング・ポンド=154.80円、1メキシコ・ペソ=5.86円、1シンガポール・ドル=79.11円、1スウェーデン・クローネ=13.07円、1ユーロ=121.01円です。

特定資産の価格等の調査

F S海外高格付け債マザーファンドにおいて行った取引のうち、投資信託及び投資法人に関する法律11条第1項の規定により価格等の調査が必要とされた資産の取引については、あらた監査法人へその調査を委託しました。対象期間中(2015年6月11日から2016年6月10日まで)に該当した取引は、直物為替先渡取引の16件であり、当該取引については、通貨、期日、レート、取引の相手方の名称等の内容に関して当該監査法人から調査報告書を受領しております。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年6月10日)現在

項	目	第 18 期 末
(A) 資	産(円)	36,891,808,923
	コー ル ・ ロ ー ン 等	595,500,388
	公 社 債(評価額)	20,346,547,857
	未 収 入 金	15,663,916,151
	未 収 利 息	70,459,167
	前 払 費 用	19,727,365
	差 入 委 託 証 拠 金	195,657,995
(B) 負	債	15,836,216,619
	未 払 金	15,836,215,853
	未 払 利 息	766
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)		21,055,592,304
	元 本	10,767,899,656
	次 期 繰 越 損 益 金	10,287,692,648
(D) 受 益 権 総 口 数 (口)		10,767,899,656
	1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C / D) (円)	19,554

<注記事項> (当マザーファンドは監査対象外です。)

(注1) 期首元本額(円)	10,130,391,846
期中追加設定元本額(円)	1,686,444,595
期中一部解約元本額(円)	1,048,936,785
(注2) 1口当たり純資産額(円)	1,9554
(注3) 元本の欠損(円)	-
(注4) 期末における元本の内訳(円)	
世界バランス・ファンド<適格機関投資家専用>	3,182,187,370
[アバディーン・ファンド・セレクション] 海外高格付け債ファンドBコース(為替ヘッジなし)	1,407,338,242
グローバル・ボンド・ファンド VA<適格機関投資家専用>	6,178,374,044

損益の状況

当期 (2015年6月11日から2016年6月10日まで)

項	目	第 18 期
(A) 配 当 等 収 益 (円)		425,556,847
	受 取 利 息	425,360,529
	そ の 他 収 益	244,446
	支 払 利 息	△ 48,128
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益		△ 2,388,595,961
	売 買 益	1,950,507,603
	売 買 損	△ 4,339,103,564
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益		8,882,539
	売 買 益	403,202,998
	売 買 損	△ 394,320,459
(D) 信 託 報 酬 等		△ 4,738,278
(E) 当 期 損 益 金 (A + B + C + D)		△ 1,958,894,853
(F) 前 期 繰 越 損 益 金		11,580,278,241
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金		2,533,696,492
(H) 解 約 差 損 益 金		△ 1,867,387,232
(I) 合 計 (E + F + G + H)		10,287,692,648
	次 期 繰 越 損 益 金	10,287,692,648

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定金額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

当報告書はアバディーン投信投資顧問株式会社独自の分析に基づき作成したものです。信頼できる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性が保証されるものではありません。当報告書で示した見通しおよび分析結果等については、予告なく変更する場合があります。また、当報告書中の過去の収益率等は、将来の投資成果を保証するものではありません。